

令和4年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
---------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目 平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>①施設の設置目的に沿った運営</p> <p>②提案した管理運営方針に沿った管理</p> <p>③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取り組み</p>	A	<p>①・条例の設置目的に従って、「体育・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を提供できるよう、適切な管理運営がなされている。 ・メインアリーナにおいては、水泳の全国大会、各種団体の運動会、アイスショーの利用などメインアリーナの形態に応じた利用がなされている。</p> <p>②・施設の特性を生かした自主事業(スポーツ教室や文化教室)を実施し、府民のスポーツ振興に貢献している。 ・プール補助券は、令和2年度10月より門真南駅に広告(PR)を実施しており、近隣住民に対する周知が図られている。 ・職員研修をはじめ、水中安全研修、個人情報保護に関する研修、緊急対応訓練などの実施により職員の資質向上が図られている。</p> <p>③・法令遵守の取組みとして、各種コンプライアンス研修や自主内部監査を実施するとともに、個人情報の取扱に関しての意識向上に努めている。 ・環境活動としては、事業体を構成する団体相互の情報共有化と共に、省エネ意識の向上が図られている。</p>	A		A
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>①公平なサービス提供、対応状況</p> <p>②高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <p>③感染拡大防止対策の徹底</p>	A	<p>①・誰でも無料で気軽に参加可能なワンポイントレッスンの実施により、老若男女を問わず水泳の能力向上を図ることが可能である</p> <p>②・府福祉部のアクティブシニアのパートナー登録施設として、健康運動指導士を複数配置し、高齢者の安全な運動に配慮している。 ・貸出し用車椅子の配置や、減免を実施するとともに、「障がい者スポーツ指導員」を4名配置するなど障がい者に対する配慮体制が整備されている。 ・施設のバリアフリー情報を館内に掲示し、利用者への配慮に努めている。</p> <p>③・施設職員及び利用者に対して徹底した感染拡大防止策を実施していることにより、今までクラスターを一度も発生させることなく運営を継続している。</p>	A		A

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価		
			S～C		S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	施設 の 効用 を 最大 限 発 揮 す る た め の 方 策	(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和3年度実績：238,742人 令和4年度目標：519,134人 9月末現在実績：160,422人	①月間行事案内を毎月発行し、要所への設置と関係各所への送付を実施。レストランのオープンに伴い、レストランへの協力も行って、施設利用者増も推進した。 ②令和3年度上期実績：95,010人 ⇒前年+56,514人 ⇒前年同期比：159.5%	S	①・新たな利用者層を獲得するため、1教室を新規開設し、プロレスの興行を行う等を行った。 ・利用者の増加を図るため現在人気のある教室を1教室増設した。 ②・教室やイベント情報などホームページをタイムリー更新して情報を提供している。 ・前年より増加しているものの、目標達成が難しい状況である。	B		B
	(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み ②自主事業の取組み ③施設設備、機能の活用	①COSPAウエルネスの費用にて、マッサージチェア2台を新設し、利用者満足度の向上に努めた。また、有資格者の配置を継続した。（健康運動指導士5名、障がい者スポーツ指導員4名、障がい者スポーツコーチ1名、プール衛生管理者1名） ②自主事業として各種スポーツ教室等を継続実施。利用者のニーズに合わせて、リトモス教室の増設とキッズダンス教室の新規開設も行った。リトモスは定期的なイベントも開催し、利用者満足度の向上と新たな利用者の来館促進にも努めた。コロナの影響等を加味し、夏休みの期間変更に合わせて参加しやすい時間帯に短期教室を設定変更し、集客に努めた。 ③複合施設として、様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。プール可動床を活用し、アーティスティックスイミング日本代表チームをサポート。	A	①・各種有資格者を継続的に配置し、それぞれの資格に合わせたサービス等を展開し、利用者の満足度向上に努めている。 ・利用者による利用頻度が高いが、故障頻度が高くなっていったマッサージチェア2台について入れ替えを実施したことで、利用者による満足度向上に努めている。 ②・自主事業として、スポーツ教室及び文化教室を前年度に引き続き開催し、利用者の満足度向上に努めている。 ・教室の新規開設や、ホームページや月間行事案内でのイベント・教室の告知や、近隣へのポスティングを行い、施設の集客に努めている。 ・コロナの影響等を加味し、夏休みの期間変更に合わせて参加しやすい時間短期教室を設定変更し集客に努めている。 ③・プール・アリーナ、スケートリンク共に利用率が高い状況となっている。 ・メインプール・サブプールの稼働床により、同時に異なる目的での利用が実現されており、多機能施設の特性を十分活用している。	A		A	
	(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理 ②施設設備の安全管理 ③緊急時の危機管理体制	①仕様書に則った設備維持管理を行い、大阪府様へのタイムリーな報告も実施している。 ②職員間で不具合箇所の情報を共有し、リストの作成と活用により効率良く改善を実施。 ③危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。 年間通じて、定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に実施し緊急時対応の技術を維持する。 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者、従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるように訓練を実施する。 安否確認システムを採用しており、職員の安否確認も実施している。	A	①・施設修繕会議を定期的で開催し、施設の現状と問題点や課題等を共有し、効果的な維持管理の方策を立案し、実践することができている。 ②・日頃からのチェック体制を確認し、安全管理に向けた意識向上を図ることが出来ている。また、不具合が発生した時の対処の体制が整備されている。 ③・危機管理体制の整備で、災害等の際には迅速な対応が可能となっている。 ・緊急事態訓練や消防訓練をはじめ、災害発生時における対応訓練等、安全研修も実施している。	A		A	
	(6)収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み ②提案どおり実施されているか。	①HPバナー、月間行事案内、館内壁面広告を実施した。 ・HPバナー広告 ■件 ■千円/月 ・月間行事案内広告 ■件 ■千円/月 ・館内壁面広告 ■件 ■千円/月 ※上期実績：■円 ②スケート実施時期には横断幕やのぼりを設置し、ポスター掲示と合わせて集客に努める。	B	①・コロナの影響により広告収入に苦戦はしているが、HPバナー、月間行事案内及び館内壁面が実施されており、収入確保策の取り組みが行われている。 ②・館内壁面広告は実施しているが、メインアリーナ大型映像広告掲載については実績がない状態であり、収入確保につなげていく必要がある。	B		B	

評価項目		評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
				S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	A	B	B		B
			②行政の福祉化の取組み					
			③市民・NPOとの協働の取組み					
			④環境問題への取組み					
I 総括			7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A		A

①「まいど子どもカード」利用料金割引実施。
「アクティブシニアパートナー」利用料金割引実施。
アスマイルの啓蒙掲示物の掲示協力。
府政学習会への積極的な協力。
府各部署からの啓蒙掲示物の掲示協力。
府各部署関係を継続的に掲示協力。
大阪マラソン、府催事広告の協力。
門真警察の防犯啓蒙ポスター掲示協力。
守口門真市消防組合祖消防本部の防火啓蒙ポスターの掲示協力。
C-STEPへの継続加盟。

②地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。
共同事業体各社 障がい者の実雇用率
<令和4年4月1日現在>
・株式会社COSPA ウェルネス：2.96%
・関電ファシリティーズ株式会社：2.19%
・株式会社パティネレジャー：3.95%

平成30年より、パラリンピックの出場を目指すパラスポーツ競技者 1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。

③なみはやスイムフェスティバルを通じて、府民ボランティアに参画いただく予定であったが、コロナ影響により大会を中止とした。

④SDGsの17ゴール（6、7、12、13、15など）を意識し、雨水や井戸水の利用、コピー用紙の削減や省エネによる環境保全に努めた。COSPAウェルネスの費用にて、井水設備を設置し、雑用水として使用。
メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等に使用。
老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。
外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。
COSPAウェルネスの費用で空調機制御インバーターを導入し、24時間必要に応じた制御を実施。
コピー用紙は裏紙の使用やページ集約機能を活用し、使用量の削減を実施。
植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。

①・府福祉部施策の「まいど子どもカード」や「アクティブシニアパートナー」、府民文化部の「大阪マラソン」、政策企画部の「大阪880万人訓練」、ウクライナ避難民支援募金、門真警察署や消防組合などの各事業に積極的に協力している。
また、「子ども110番の家」協力施設にもなっている。

②・C-STEPへの加入や知的障がい者の雇用（清掃現場就業）に取り組んでいる。
・就労支援センターを活用して2名の継続雇用に取り組んでいる。
・障がい者スポーツに取り組む方の支援に積極的に行っており、従業員の中からアジアパラリンピック代表選手を輩出している。
・障がい者の実雇用率は、関電ファシリティーズ株式会社1社において、昨年度より上昇している。

③・昨年度同様新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みて中止となった

④ SDGsの17ゴール（6、7、12、13、15など）を意識した取組みを実施し、気候・利用状況に応じた取り組みで、節電・節水に努めている。

【参考(SDGsの17ゴールについて)】
6：安全な水とトイレを世界中に
7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに
12：つくる責任つかう責任
13：気候変動に具体的な対策を
15：陸の豊かさを守ろう

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S~C		S~C		S~C
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①アンケートを実施し、利用者満足度の向上に努めている。（令和3年度配布実績 配布数507通、回収数92通、回収率18.1%） ②結果は職員へ共有し、緊急性や影響度を考慮して、即日改善や計画的な改善を行っている。	A	①・専用利用団体及び個人利用者に対して毎年アンケートを実施。満足度の結果として、大変満足もしくは満足との回答が、98.8%となり、非常に良い結果となっている。 ②・利用者からの意見・要望を受け、緊急性や影響度を考慮して随時実施している。	A	A
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R3実績：■人、上半期実績：■人 R4目標：■人、上半期実績：■人 〔指標2〕自主事業収入状況 R3実績：■円、上半期実績：■円 R4目標：■円、上半期実績：■円	・参加者数：対前年■人 ・前年同期比：■% 利用者ニーズへの対応や職員のスキルアップにより、前年よりも参加者数を大幅に伸ばすことができている。 ・コロナ影響が未だ残ってはいるものの、収入は昨年度上期実績+■円となっており、改善の傾向が見受けられる。	B	・他施設では見られない独自性のある自主事業を行い、リトモス教室の増設やキッズダンス教室の新規開設により、自主事業の参加者数増加につながっている。	B	B
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	コロナ感染拡大防止に注力し、定期的な館内の消毒および換気を行った。 利用団体にも手指消毒および備品消毒セットを受付時にお渡しし、感染防止に向けた協力と意識付けを同時に行った。 一般利用者の獲得は、特にトレーニングルームの認知度向上を目的にレストランオープンとの相乗効果を図り、利用者増に努めた。また、紹介キャンペーンを実施し、利用者から新規の利用者をご紹介いただいた。 お客さま向けの案内ボードを適宜設置し、周知に努めた。 駐車場内での事故防止とスムーズな入出庫により利用者のストレス軽減を目的に、警備員と連携して一斉出庫対応等を行った。	S	・新型コロナウイルス感染拡大防止について、利用団体へ無償で消毒備品セットを貸与することで利用者への感染拡大防止の協力と意識付けを行うなど、徹底した感染拡大防止対策により今までクラスターの発生が無く、施設の運営を継続することが出来ている。 ・一般利用者を増やすために紹介キャンペーンを実施した。その結果として、昨年度より新規登録者の数が大幅に増えた。 ・大規模なイベントの開催時には、駐車場の合流地点が混雑するため、施設の職員による交通整備を実施することで、出庫までに要する時間を1時間程度削減することが出来ている。	S	S
	II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	A

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	S~C	評価委員会の指摘・提言	S~C
			S~C		S~C		S~C
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R4収支計算書（プロポーザル） 収入：561,087千円、見込み：495,540千円 支出：561,087千円、見込み：548,370千円 納付金： 0千円、見込み： 0千円	① 事業収支及び見込み 《令和4年度：対プロポーザル比》 収入： 89.1% 支出： 98.3% 納付金： 0% ※支出は抑えるも、コロナ影響により収入減。	C	・新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和されつつある現状ではあるが、消毒用品の購入や光熱費の高騰から、支出について大きな影響が残っている。	B	B
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	①各部署に人員配置を行い管理運営を行う（常勤：週30時間以上）。 管理運営業務 常勤21人、非常勤56人 施設総合管理業務 ・設備管理業務 常勤8人 ・警備保安業務 常勤4人 ・清掃業務 常勤4人（非常勤12人） ②代表企業のCOSPAウエルネスが中心となり、三社で連携を取ってより良い運営を心掛けている。 ③休館日を活用して、安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図っている。運営会議、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度の改善を実施した。 夏場のプール繁忙期前にはプール安全研修を行い、遊泳者の異変の第一発見者になるための訓練や溺者への対処法などを行った。 プライバシーマークを取得しており、高いレベルでの個人情報の取り扱いを行っている。	A	① ・適切な人員配置により、円滑な管理運営体制となっている。 ② ・管理監督体制及び責任体制が明確にされている。 ・共同事業体として各々の事業体が明確な役割分担を行い、管理運営を行うこととしている。 ③ ・従業員の指導育成のための研修が実施されている。	A	A
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	①<株式会社COSPAウエルネス経営概要> 直営フィットネスクラブ(コ・ス・パ) 22店舗 他 <関電ファシリティーズ株式会社経営概要> 施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。 <株式会社パティネージャー経営概要> 全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。 ②事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業CW（令和3年実績） ・売上高 : 11,271百万円 ・経常利益 : 52百万円 財務基盤の自己評価（令和3年度実績） ・総資 : 16,395百万円	B	① ・構成企業を含め運営基盤は、概ね安定していると認められる。 ② ・構成企業を含め財政基盤は、概ね健全であると認められる。	B	B
Ⅲ 総括		3項目（12点満点）		B	3項目（12点満点）		B
					年度評価	B	B